

『民主制のディレンマ』改訂表

頁番号		誤	正
16	7行目	頑固	頑迷
25	3行目, 4行目	生産物	製品
43	14行目	十分な	たくさんの
50	1行目	歴史	履歴
54	14-15行目	表現	表象
55	12行目	表現	表象
61	5行目	行ったり	行なったり
69	8~10行目	我々が政治に関心を持つように、我々は助言を求める人々が助言者の意図と専門的判断について情報を欠いているような事例に焦点を当てる。	我々は政治に関心があるので、焦点を当てるのは助言を求める人が助言者の意図と専門知識についての情報を欠いているような事例である。
69	11行目	「次節において」以下の文を改行して段落にする	
71	図3.1	「われわれの基本モデル」の前の点線(破線)をチープ・トークモデルと同じ細い実線に変更。	
83	11-12行目	1つの均衡においては、本人が自分の選択を語り手の言うことに基礎づけている	1つの均衡において本人は語り手の発言に基づいて選択する
95	本文最終行	政府と親しい	政府に近い
113	8行目	悲惨もの	悲惨なもの
121	図5.4(a)	PDF参照。	
122	本文最終行	代理人	本人
128	表6.1	定理のハイフン「-」をすべてドット「.」に変更	
128	表6.1 3-2	本人が検証	本人の検証
139	表7.2	外部の力	外部からの力
173	表7.4	処理の条件	処理条件
173	表7.5	話し手	語り手
180	表8.1「実験の操作化」1行目	話し手	語り手
180	表8.1「実験の操作化」6-7行目	提案するを	提案することを
181	表8.1左側(理論の前提)「語り手の特徴に関する変数」の3	話し手	語り手
181	表8.1右側(実験上の操作化)2行目	話し手	語り手
191	図8.1a,b,c,d	操作の条件	統制条件
191	図8.1e,f,g,h	処理の条件	処理条件
192	本文最終行小見出し「語り手の利益実験」を次ページ冒頭に移動させる		
193	表8.4	操作	統制
195	図8.2a,b,c,d	操作の条件	統制条件
195	図8.2e,f,g,h	処理の条件	処理条件
197	表8.5	操作	統制
199	図8.3a,b,c,d	処理の条件	処理条件
199	本文最終行小見出し「検証実験」を次ページ冒頭に移動させる		
199	表8.6	操作	統制
201	図8.4a,b,c,d	処理の条件	処理条件
212	表9.1		1,247
212	表9.1	自由派	リベラル派
215	2行目	「支持-賛成」	「支持-反対」
215	表9.3タイトル3行目	話し手	語り手
220	10行目	私を好きな	私のような
220	10行目	主張	考え
221	表9.6	表タイトルの「話し手」を「語り手」に修正	
221	表9.6	表中に4か所ある「自由派」をすべて「リベラル派」に修正	
221	表9.6	表中に4か所ある「イデオロギー」についての予測をすべて「イデオロギーによる予測」に修正	
227	3行目	判事	陪審員
231	6行目	Dalton: 249	Dalton 1989:249
251	13行目	冒頭のスペースをつめる(別の段落にしない)	
267	下から10行目	Journal of Politics 8	Journal of Politics 48

2013年4月1日 改訂

訳書リストからもれていたもの

K・アロウ(村上泰亮訳)『組織の限界』岩波書店、1999年。

O. E. ウィリアムソン(浅沼万里・岩崎晃訳)『市場と企業組織』日本評論社、1980年。

D. ウィットマン(奥井克美訳)『デモクラシーの経済学—なぜ政治制度は効率的なのか』東洋経済新報社、2002年。

図5.4 (a) 知識条件へのステップ

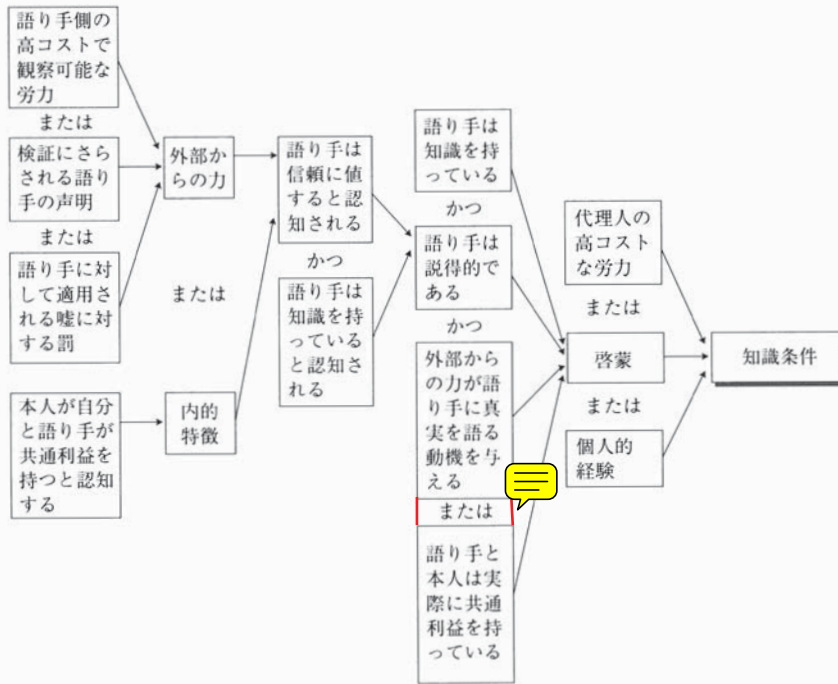
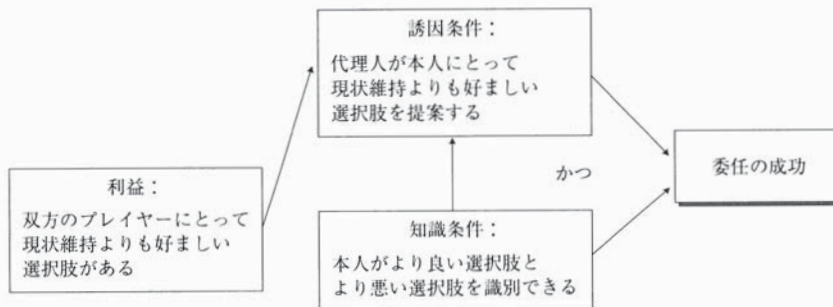


図5.4 (b) 成功する委任のための条件



つ」といった要素の範囲を列挙することができれば、そのとき我々はこれらの制度が委任の成功に資するかを説明できる。実際、我々は第10章において